

令和6年度 島根県学力調査結果及び分析

松江市立忌部小学校

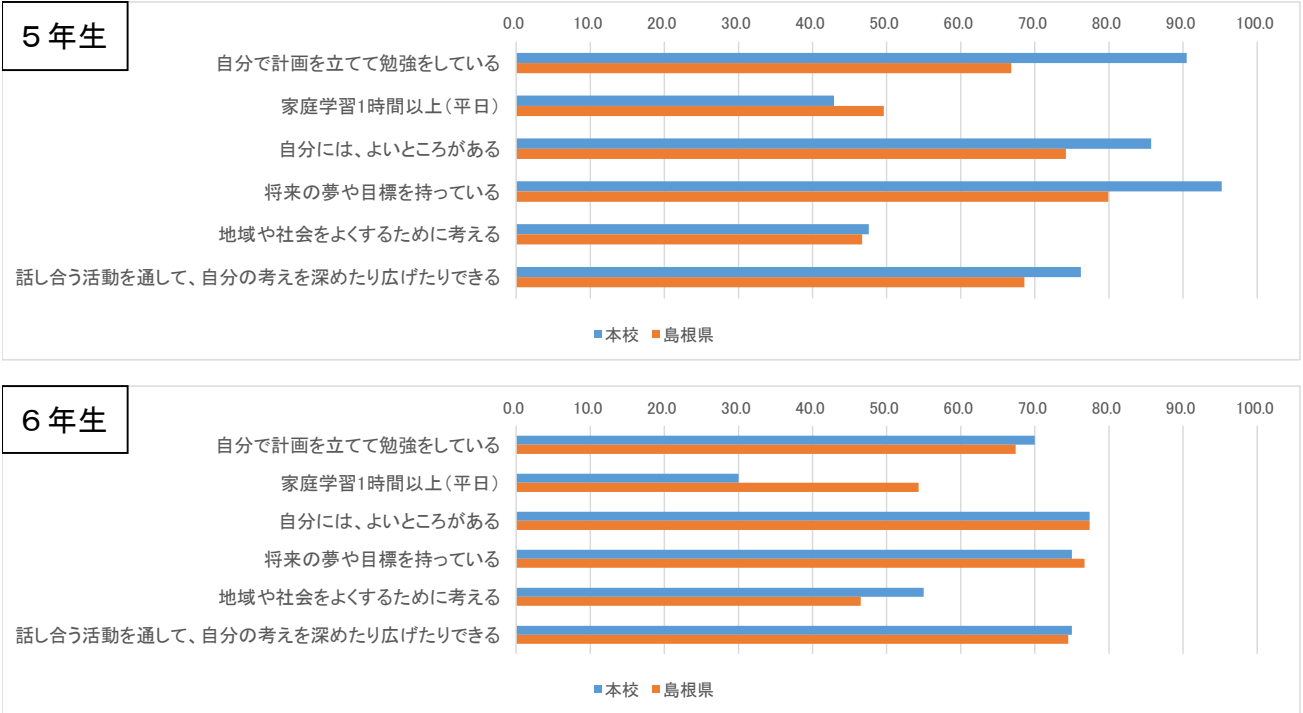
【1】「教科に関する調査」結果から見られた成果と課題（○成果／●課題）

	5年生	6年生
国語	○聞き取り問題が県平均を上回った ●漢字の読み書きが全国と比べると10～15ポイント低い。 ●叙述からの言葉の読み取りが県平均を下回った。 ●本文から指示語を見つけて抜き出すことに課題がある。 ●記述問題では指定された条件で文章を書くことに課題がある。 ●時間配分ができず、約4割の児童が最終問題までたどり着けなかった。	○聞き取りの問題が県平均を上回った。 ●漢字の書き取りに大きな課題がみられる。 ●言葉の成り立ちに関する問題に大きな課題がみられる。 ●指定された内容で文章を書く問題に大きな課題がみられる。
算数	●計算力に課題がみられる。(小数、分数) ●体積の立式を求める問題に課題がみられる。 ●単位量当たりの大きさを求める問題に大きな課題がみられる。 ●倍の計算に大きな課題がみられる。 ●問題を速く読んで理解する力に課題がみられる。(最後にかけて無答率が高くなる) ●問題の読み取りに課題がみられる。	●全体的に解けていない。(県平均から30ポイントマイナス) ●特に「分数の計算」「文字式」「面積」「体積」「比」の学習に課題がみられる。

【2】「意識調査」結果から見られた成果と課題（○成果／●課題）

	5年生	6年生
意識	○友だち、家族、先生から「認められている」と感じている児童が県平均より5～10ポイント高い。今後も児童たちを承認するような言葉かけを行っていく。 ○睡眠時間は県平均よりも長い傾向にある。保健指導やメディアコントロールウィーク等の際、継続して睡眠の効果について指導を行う。 ●「自分のことが好きである」という項目で、肯定的な意見が県平均より8ポイント下回っている。今後は、自己啓発を行う活動を増やしていきたい。	○自分のいいところ、友だちや家族、学校から認められていると感じている児童が県平均より5から10ポイント程、上回っている。今後も児童たちを承認するような言葉かけを行っていく。 ●寝る時刻の遅さ、それによる睡眠時間の短さが顕著にみられる。今後は、これまで以上に睡眠の有効性について指導を継続していく。 ●意識調査の項目を見ると、全体的に県平均か、県平均を上回っている項目がほとんどである。しかし、個別にみみると、生活の乱れがみられる児童に偏りがある。個別の言葉かけをこれからも継続していく。

【3】「意識調査に関するデータ」（教育委員会として注目している項目のうち全国調査と同様の質問項目を挙げています）



【R6学力調査受検者数】

5年生

21

名

6年生

20

名

(欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は最少の受検者数をもって表示)